

次代を担う子どもたちに必要な“志共育”を、日本から世界に広めていきたい。

1962年に京都で産声をあげた。全人教育をモットーとする学習塾からスタートした、成基コミュニティグループ。現在は関西圏での塾経営を中心に、幼児から社会人までを対象とした多様な教育サービスを展開する。ともに、志共育にも注力する。

近年、さまざまな調査で日本の子どもたちの自己肯定感の低さや、日本企業における無気力な社員の増加などが浮き彫りになっている。また、引きこもりの数は日本全国で約114万人にもなり、若年層の自殺やいじめなどの問題も増え続けている。

成したい。そうした強い思いを持って私たちが推進するのが、志共育です。

教育による日本再生を目指すというビジョンを掲げ、一般社団法人志教育プロジェクトが設立されたのは2014年。心理学者であり実業家の出口光氏が理事長、佐々木氏が副理事長を務める。特別顧問には、安倍昭恵元総理夫人やサッカー元日本代表監督の岡田武史氏、下村博文元文科相など、錚々たるメンバーが名を連ねる。

2018年には、特別顧問の松本零士氏がキャラクターの原案を手掛けたアクティブラーニング教材『夢を叶える方法』志の法則』を刊行し、世界各国の子どもたちが参加する「世界青少年志」プレゼンテーション大会も開催。佐々木氏自身も志共育の普及を目指し、これまで日本各地で1万人以上を対象に、100回を超える講演を開催してきた。

もたちに『自分も駄目だ』という気持ちを持って欲しくない」という思いから、当時の進学塾では画期的だった個別指導を導入。その成功モデルが、日本のみならずアジア各国に広がった。

そうした活動に注目した内閣からの指名を受け、佐々木氏は2013年から安倍元総理の諮問機関である「教育再生実行会議」に参画。いじめ問題から大卒入試改革まで、多岐にわたるテーマに応じて日本全国や海外の教育現場を手弁当で視察し、8年以上の活動で多くの提言に関与。その後、2021年には超党派の国会議員170人と民間有識者100人で構成される「教育立国推進協議会」の発起人として、教育国債の発行や大学の学費無償化のための憲法改正についての議論を牽引するなど、「人づくりこそ天命」という自らの志に立脚した活動を続けてきた。

本の中高3万4千校における100万人の子どもたちの志を現す、志共育の普及に全力を注ぎたいと決意しました。

紛争や環境問題、資源・食糧不足など、今、世界は多くの課題を抱えている。そうした課題と対峙するため、多様な価値観を持つ人々や自然との共生がより必要となるこの先の時代には、「古くから『和を以て貴しとなす』という精神を大切にしてきた日本人の貢献が、世界からいつそう求められるはずです」と佐々木氏は言う。

そうした志を持つことで、日本が再び世界トップクラスの国になると信じています。すでに民間の塾や私学での普及が進む志共育を、今後は全国の自治体や教育委員会を通じて、公教育の場にも広げていきたい。そのためのファンドレイズなども検討していますので、企業や投資家の皆様にもぜひご賛同と応援をいただければと思います。

今は亡き安倍元総理と共に、教育再生実行会議で志を共にした佐々木氏は、元総理が生前理想とした「世界中の人々から日本人が尊敬・信頼される人材育成」を実現するため、そのパトンを引き継いだ。教育業界のバイオニアが見据える日本再生への道、志が創る日本の未来に期待したい。

CHALLENGER

The Extra Edge
世の中のトレンドをリードする
話題のモノ、ヒト、コトなどを紹介

佐々木喜一

SASAKI YOSHIKAZU
成基コミュニティグループ 代表兼 CEO

1958年京都府生まれ。同志社大学文学部卒業。総合教育機関である成基コミュニティグループ代表兼 CEO。第二次安倍内閣の諮問機関である「教育再生実行会議」委員などを歴任。創業60周年を迎えた2022年度に社長職を退き、民間から志共育の普及活動を推進する。